

あの興奮を、いま再び。(北海道新聞記者 加藤浩嗣)

TPS公演

美男ペコパンと悪魔

原作／ヴィクトル・ユゴー 構成・演出／斎藤 歩

2009.9/6 SUN 14:00開演(13:30開場) 札幌芸術の森 調整池



芸術文化振興基金

TPS公演 美男ペコパンと悪魔

原作／ヴィクトル・ユゴー 構成・演出／斎藤 歩

2009.9/6 [日] 14:00開演(13:30開場)

CAST 木村洋次 岡本朋謙 佐藤健一 鎌内聡 宮田圭子 林千賀子 高子未来 斎藤由衣

北海道でシアターキャンプを断続的に続けています。

初めは、串田和美さんのリーダーのもと2002年に富良野～札幌で始まりました。その後串田さんとの第一期キャンプは3年間続き、朝日町や信州松本市もキャンプ地に加えて、結果、「コーカサスの白墨の輪」という作品が産まれました。

第二期は2005年から私が串田さんからリーダーを引き継ぎ、札幌芸術の森をベースキャンプに、深川市、そして歌志内市でもキャンプを3年間続け、第一期から継続して朝比奈尚行さんに音楽監督をお願いして、30名ほどの参加者が東京から、北海道内から集まって続けることができました。そしてまた、3年目に「トリスタン・イズー物語」という作品が産まれ、芸術の森野外ステージで公演しました。

そして、今年、第三期を始めようと思っています。今回題材に選んだのはヴィクトル・ユゴーの「美男ペコパンと悪魔」です。「トリスタン・イズー物語」を第二期の作品に提案する時、どっちにしようか最後まで迷っていた作品です。第二期の最終到達点として芸術の森の野外ステージというあの壮大なスケールの場所・空間が既に設定されていたため、「ペコパン」よりは「トリスタン・イズー物語」を選んだのでした。今回は少し小ぶりな調整池という窪地を想定し、もう少し登場人物やドラマを丁寧に描けるのではないかと期待しています。夏の北海道で、思う存分自由に、呑気に、既成概念にとらわれることなく、新しい演劇の可能性を、見たことも聞いたこともない演劇を夢想したい。そんな思いから始まったシアターキャンプで扱う題材にふさわしい、荒唐無稽な物語です。

今年にはキャンプの1年目ですから、その到達点としての公演を行います。一期目の「コーカサスの白墨の輪」、二期目の「トリスタン・イズー物語」の時もそうでしたが、それぞれ1年目に公演を行ってきました。今思えば、あの最初の1年目のまだ粗削りな公演が、ある意味、純粋に演劇の喜びであるとか、不安であるとか、エネルギーのようなものに満ち溢れていたような気がします。今回の「ペコパン」も、今回限り、朝モギのもぎたてのトウキジを午前中に茹でるような、まだやや青味がかったトマトを丸ごとかじるような、7月中に根室に水揚げされたサンマのような、そんなフレッシュなみずみずしさのあふれる公演になることと思います。

斎藤 歩



右：シアターキャンプ第1期(1年目 2002年)
左：シアターキャンプ第2期(1年目 2005年)

2002年の試演会をその年の演劇ベスト1に選んだ北海道新聞記者・加藤浩嗣さんのコメント

「物語からの脱線、逸脱、修復を繰り返し、文句なしに楽しかった『KUSHIDA WORKING in 北海道』一年目のシアターキャンプ。あの興奮を、いま再び。」

北海道新聞記者 加藤浩嗣

劇評ブログ「シアターホリック(演劇病)」主宰 <http://ham-pro.seesaa.net/>

お問い合わせ／北海道演劇財団

札幌市中央区南11条西1丁目ファミール中島公園1F TEL 011-520-0710 FAX 011-520-0712
E-mail office@h-paf.ne.jp HP <http://www.h-paf.ne.jp/>

稽古日記公開中! <http://www.h-paf.ne.jp/>

会場／札幌芸術の森 調整池

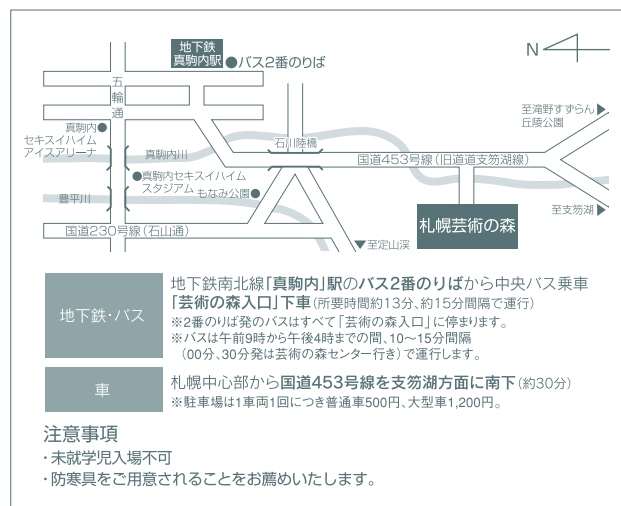
(札幌市南区芸術の森 2-75)

※雨天の場合は野外ステージで上演します

《料金》 前売当日共通 / 全席自由・税込

○一般…2,000円 ○学生…1,500円

《チケット取り扱い》 北海道演劇財団 011-520-0710



STAFF 演出助手：宮田圭子 舞台監督：岡本朋謙 舞台スタッフ：TPS劇団員
宣伝美術：若林瑞沙(studio COPAIN) 制作：阿部雅子、横山勝俊
ディレクター：斎藤歩 プロデューサー：平田修二 企画製作：北海道演劇財団
主催：北海道演劇財団、NPO法人TPSくらぶ、札幌市芸術文化財団
協賛：北海道文化放送、北洋銀行、北海道テレビ、北海道新聞社、岩本・佐藤法律事務所
ホクレン、ファイブフォックス
後援：札幌市、札幌市教育委員会
助成：芸術文化振興基金

キャンプ公演の経緯

シアターキャンプは、02年度から04年度まで行われた「KUSHIDA WORKING in 北海道」に端を発しています。3年間に全国から多くの演劇人が北海道に集まり、街の人と触れ合いながら、合宿をして、演劇を考え合いました。その成果を継続、発展させ、この新しい方法による演劇創造を全国に広げていきたいと考え、05年度～07年度まで「シアターキャンプ in 北海道」を行いました。それぞれ、3年間の集大成としての公演を札幌のほか、道内各地で行い、高い評価を得ました。

一年間の充電期間を経て、また、過去6年間の成果をさらに発展させ、09年度からシアターキャンプを再始動します。

《これまでの取り組み》

●…シアターキャンプ ◆…公演

- 2002～2004年度 「KUSHIDA WORKING in 北海道」(講師：串田和美 ほか)
- ◆2005年 「コーカサスの白墨の輪」
作：ペルトルト・プレヒト 翻訳：松岡和子 演出・美術：串田和美
衣裳：ワタエミ 音楽：朝比奈尚行
出演：松たか子 谷原章介 穂谷友子 串田和美 ほか
- 2005～2007年度 「シアターキャンプ in 北海道」(講師：斎藤歩 ほか)
- ◆2007年 音楽劇「トリスタン・イズー物語」
編：ペディエ 翻訳：佐藤輝夫 演出：斎藤歩 音楽：朝比奈尚行
出演：小嶋尚樹 稲葉良子 鈴木光介 永利 靖 ほか